

令和元年第3回木更津市まち・ひと・しごと創生懇談会 概要

参考

開催日時: 令和元年10月28日 10:00～11:15

場 所: 木更津市役所駅前庁舎 会議室1

議 題: (仮称)第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について

鈴木座長 木更津商工会議所 会頭

秋川委員 木更津市富来田商工会 女性部長

白石委員 木更津市農業協同組合 総務課長(欠席)

高橋委員 木更津市6漁業協同組合連絡協議会
金田漁業協同組合 代表理事組合長(欠席)

大友委員 木更津公共職業安定所 所長(欠席)

上大川委員 千葉県君津地域振興事務所 所長(欠席)

栗本委員 独立行政法人国立高等専門学校機構
木更津工業高等専門学校 教授(欠席)

丸橋委員 学校法人君津学園 清和大学 教授

苅込委員 木更津金融懇談会
千葉興業銀行木更津支店 支店長

山野井委員 連合千葉南総地域協議会 幹事(欠席)

浜端委員 株式会社ジェイコム千葉 木更津局 局長

北村委員 木更津市区長会連合会 副会長

滝口委員 木更津市社会福祉協議会 会長

平野委員 木更津市保育協議会 会長

鶴岡委員 木更津市PTA連絡協議会 会長

(仮称)第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について説明し、各委員から意見をいただいた。

【以下、主な質疑・意見の概要】

○有機米の学校給食における提供割合について、現実的な目標値を設定していただきたい。

⇒ 農林水産課・学校給食課と協議し目標値を設定することとする。

学校給食への提供をスタートに、家庭への有機米の普及を広めていき、木更津産米としてのブランド化を図っていく。

○中郷地区等は調整区域のため、新築の家屋を建てられないが、そのような地域の人口についてどうお考えか。

⇒ 集落型の地区計画の利活用を推進し、地区コミュニティの維持をするため、地域と一緒に考えていく。

○有機米以外の木更津産農産物の学校給食への提供割合をKPIとして設定してはどうか。

⇒ 学校給食へ提供している野菜の種類については、第1期のKPIとして設定している。

今後、学校給食課や農林水産課と協議することとする。

○子育て中の方を対象とした就労支援セミナー参加者数について、現状値26人では少ないのではないか。

⇒ 担当課と再度協議し、子育て世代の就労が促進されるようなKPIを設定することとする。

○外国語教育について、グローバル化に対応した教育の充実とは具体的に何をするのか、木更津独自の教育を進めて欲しい。

⇒ ALTについては、エージェントを入れずに直接雇用し、ネイティブな英語に触れさせたいとのことから、人数を増やしている。

教育委員会と協議し、英語をきっかけとしたグローバル化に対応した教育の充実を図っていく。